

“社会は 変わるし 変えられる”

～「志位さんと語る学生オンラインゼミ」行われる～

5月23日、日本民主青年同盟主催で、“志位さんと語る学生オンラインゼミ”が行われ、全国200以上の会場で670人以上の学生や若者が視聴。久喜市の日本共産党東部北地区委員会でも視聴会が行われました。

はじめに、全国の民青班などから事前によせられた質問に答える形でゼミが進行し、視聴している青年からも質問が寄せられました。

- ・コロナ禍でバイトもなくなり、今も未来も不安。日本経済はよくなる？
- ・野党共闘はどこまで進んでいる？
- ・アメリカ依存から脱却するには？
- ・原発をなくすことは可能？

などの質問に、ひとつひとつ、ていねいに答えました。さらに「共産主義が実現した未来社会の具体的なイメージは？」との質問に対しては「労働時間がうんと短くなることによって、すべての人間が自らの能力を自由に全面的に発展させることができる社会です」と答えました。



YouTubeで配信中ですので視聴してみてください!!!



我がまちのトピックス① 春日部市

5月3日（月・憲法記念日）、「憲法九条の碑」の除幕式が小淵山観音院で行われ、約100人が参加しました。来賓として石川良三市長があいさつし、ジャーナリストの伊藤千尋さんのメッセージが紹介されました。

首都圏で初めての平和のシンボル石碑の高さは165センチ、幅は236センチで、表面には日本国憲法前文と第九条、

「憲法九条の碑」小淵山観音院に建立

背面には建立の趣旨と募金者名（希望者320名、30団体）が刻まれています。募金者は、匿名希望者114名を含めて434名で、募金総額は365万7222円でした。

場所を提供した小淵山観音院住職の尾花樹芳さんは、「この石碑を通して憲法や戦争と平和のことを考える場にしてほしい」と述べました。

ぜひ一度、訪ねてみてください。

春日部市小淵1634番地
（市議会議員 今尾安徳）

2021年6月／部内資料

あなたと日本共産党をつなぐ かけはし



ワイ・ムード(青年の気持ち)



5/20 第8回フードパントリープロジェクトが東武動物公園駅でとりくまれ、約40人が食料や日用品を受け取りました

特集 新型コロナ若者アンケート 結果報告

日本共産党東部北地区委員会 青年後援会
〒346-0012 久喜市栗原 333-1 ☎ 0480-22-9296

共産党 東部北

検索

<http://jcp-toubukita.blog.shinobi.jp/>



No.21

日本共産党は、コロナ禍で大変な思いをしている青年の声をお聞きし、政治に反映させるため、「新型コロナ若者アンケート」にとりくんできました。返信用封筒と、インターネット合わせで240通の回答がありました。結果がほぼまとまりましたので、お知らせします。

コロナ禍でどんな影響がありましたか？

・仕事やバイトがなくなった／減った	34%	・学費を払えない／今後の支払いが不安	8%
・給料がカットされた	11%	・図書館など学校施設が十分に使えない	24%
・ボーナスがない／カットされた	13%	・医療、保育など実習時のPCR検査が自腹	3%
・休業補償がうけられない	3%	・就職が決まらない／決まるか不安	20%
・お金がなくて、食費を削っている	21%	・オンライン授業の課題が多い	19%
・奨学金の返済ができない／今後の返済が不安	17%	・友人ができない／サークル活動ができない	13%
・家賃や水光熱費、税金を滞納した	5%	・孤独を感じる	28%
・借金で生活費を補っている	7%	・退学や休学をした／検討中	3%

政治にがんばってほしいことは？

・コロナの感染対策・PCR検査の抜本的拡充等	56%	・就職活動への支援	28%
・緊急の現金給付	54%	・消費税5%に緊急減税	41%
・学費を半額に	26%	・医療や保育、介護など支援	42%
・休学費をなくす	11%	・ジェンダー平等	29%
・多くの学生が受けられる給付奨学金	23%	・格差をただし、貧困をなくす	28%
・奨学金の返済負担を軽くする	29%	・CO ₂ などを減らす	15%
・正規雇用をふやす	27%	・税金の使い方の見直し	67%
・家賃補助	28%		

若者×社会／政治 コロナ危機で変わったことは？

・こんなにもすぐに生活危機になってしまうとわかった	40%
・生きていくためには「他人の助け」の大事さを感じるようになった	28%
・困っている人への「公助」を増やすべき	44%
・自分の生活が政治の影響をうけていると感じる	29%
・SNSで政党や政治家などの発信をみるようになった	20%
・今の「経済システム」は続かないと考えるようになった	30%
・共産党の国会質問や活動を見る機会がふえた	9%
・特に変わらない	7%

#新型コロナ若者アンケート
ご協力ありがとうございました。

○日本で初めての緊急事態宣言が発令され

てから約1年たったが、初めてこのようなアンケートが自分の元へ届いた。…中略…このようなアンケート

を早期に実現し、国民の声を聞くべきだったはず。我々の声をもっと届き、反映される政治になることを期待します。

○借金（奨学金）、雇用について不安がある。正規雇用で働きたい、家庭を持ちたいという希望はあるが、実現が困難である。

○とにかく、オリンピックは今やるべきことではない。もっと国民が生活しやすくなるように支援の充実を考えて欲しい。

○大学の学費が高い。コロナで大学に行けていないのに、施設費は払わなくて良いと思う。休学している友人もいるが、休学費もとられる。

○お金の為、保身の為でなく、給料に見合う言動をしてほしい…オリンピックをあきらめて、国民の支援にまわしてほしい…若者が選挙に行き、変えたいです。

○政治家の人は頭が良いから任せておけば大丈夫だと思っていたが、誰も使わなかったマスクの配布に大金をかけ…ちゃんと選挙に行かないといけないと感じた。

アンケートに寄せられた
ご意見の一部を
紹介します



まちかどフードパントリー（食料など無料配布）

第9回 6月19日（土）午後4時から
第10回 7月16日（金）午後4時から
ところ 東武動物公園駅西口
（ボランティアスタッフは30分前集合）



支援物資也大募集！

主催：民青同盟 連絡先：090-6048-0230（佐藤） 090-7230-9239（柳澤）

いっしょに考えませんか？ ～学習会のご案内～

「韓国併合」って何？

～日韓のつらい歴史を直視しよう～

日時：6月27日（日） 11:00～13:00

会場：日本共産党東部北地区委員会（☎0480-22-9296）

○Black Lives Matter ○ジェンダー平等 ○子どもの貧困などの学習を行ってきましたが、今回は日韓問題です。“韓流ドラマやK-popが大好き”という若者も多いですが、日本と韓国の間にはつらい歴史が、そして今もヘイトスピーチが…いっしょに考えましょう！